

釜石市観光審議会 会議録

1 日 時：平成 18 年 9 月 7 日（木）午後 2 時～午後 4 時 8 分

2 場 所：市役所本庁舎 2 階 第 2 会議室

3 出席者：(1) 委 員

寺田会長、平松副会長、佐々木委員、杉本委員、千葉委員、藤江委員、
藤田委員、松岡委員 欠席：新里委員、和田委員

(2) オブザーバー

伊藤係長（釜石商工会議所総務課）

(3) 釜石市

小沢市長

経済部：佐野経済部長、和田商業観光課長、熊谷課長補佐、岩崎係長

岩手沿岸南部広域環境組合：高橋課長、菊池係長

4 経過及び結果

佐野部長が開会。市長挨拶の後、委員紹介があった。

寺田会長から挨拶があり、その後、会長の進行により議事に入る。（議事の前に市長退席）

佐野部長

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠に有り難うございます。また、皆様方には、日頃から市政の各般にわたり、何かとご協力をいただいておりますことを心から御礼申し上げます。

本日の出席委員は 8 名で、釜石市観光審議会条例第 6 条第 2 項の規定により会議は成立いたしております。それでは、只今から平成 18 年度釜石市観光審議会を開催いたします。はじめに釜石市長からご挨拶を申し上げます。

市長挨拶

平成十八年度釜石市観光審議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方には、大変お忙しい中をご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から市政の各般にわたり、特にも、観光行政の推進に際して、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、平成十八年度は、釜石市にとりまして、大きな転換期となります。

市民の長年の悲願であった、新仙人峠道路が開通し、釜石港湾口防波堤の概成、釜石公共ふ頭の完成と相まって、県内外からの来訪客の増加が見込まれます。

市といたしましては、このような環境の変化を観光振興における絶好の機会と捉え、

広く市民に対して、今後の観光の方向性と具体的な行動計画を示していくことが大切であることから、本年三月、釜石市観光振興ビジョンの策定に向けて、観光審議会を開催したところでございます。

また、審議会での検討と平行して、釜石市議会を始め、関連する団体に対してもご説明するとともに、意見募集制度なども利用しながら、広く市民の皆様からのご意見も伺ってまいりました。

本日は、観光振興ビジョンの策定について、改めて観光審議会に諮問させていただきますので、委員の皆様には十分にご審議をいただき、答申を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、委員の皆様には、当市の観光振興と「いきいき釜石・元気な釜石」を実現させるため、今後とも一層のお力添えをお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

佐野部長

ここで、人事異動などによりオブザーバー等に変更がございましたので、委員の皆様も含めてご紹介いたします。

(別紙委員名簿により紹介)

続きまして、釜石観光審議会の寺田会長にご挨拶をお願いします。

寺田会長

皆様、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

この審議会の会長をおおせつかっておりますので、私からも一言ご挨拶申し上げます。

私達は、今年の3月に釜石市長から観光審議会委員として委嘱され、釜石の中長期的な観光計画である、釜石市観光振興ビジョンの策定に取り組んできました。

3月の審議会での検討以降も、事務局では様々な方から意見を聞いて、調整を図って来たようですが、民間の動きとしましても、釜石観光協会と釜石・大槌地区物産振興協会を統合して釜石観光物産協会とし、組織力の強化を図っておりますし、グリーンツーリズムの実行委員会ではメニューを充実させて、体験者数も年々増加してきていると聞いております。また、新たな釜石の特産品なども開発されるなど、観光や物産の振興に取り組んでいるところでございます。

先ほどの市長の挨拶にもありましたが、今年度から来年度にかけては、釜石市の大きな転換期であると同時に、観光の振興にとっても大きなチャンスであると思っております。

その意味からも、我々市民が一丸となって目指していく観光における目標を、しっかりと示していけるようなビジョンにしたいと考えております。

本日の審議会が、このビジョンの策定に関しては最期の審議会になると思っておりますので、皆様の積極的な意見をお願いいたしまして、私の挨拶といたします。

佐野部長

ありがとうございました。

ここで、釜石市長より、釜石観光協会の寺田会長に対し、釜石市観光振興ビジョンについて諮問を行ないます。

恐れ入りますが、寺田会長は市長の前にお進み下さい。

～ 諮 問 ～

それでは、ここからは、釜石市観光審議会条例第5条第2項の規定に基づき、寺田会長に議事の進行をお願いいたします。

また、まことに恐れ入りますが、市長につきましては、この後、別日程が入っておりますので、ここで退席させていただきます。

議事(1) 釜石市観光振興ビジョンについて

寺田会長

それでは、さっそく議題に入らせていただきます。

本日の議題についてですが、当初予定の釜石市観光振興ビジョン（案）についてのほかに、1件、「広域ごみ処理施設の建設に係る周辺観光施設等への影響について」が追加されて、2件となっております。

始めに、「釜石市観光振興ビジョン（案）について」を議題といたしますので、事務局から説明をお願いします。

和田課長

次第の議事の(2)については、急遽入れさせていただきました「」。

始めに配布資料を確認させていただきます。

～ 配布資料を確認～

- 次第
- 資料 1 釜石市観光振興ビジョンの策定経過と今後の予定
- 資料 2 釜石市観光振興ビジョン（案）に対する主な意見と対応
- 釜石市観光審議会資料
- 広域ごみ処理施設のデザインの検討について
- 沿岸南部地区 広域ごみ処理事業の概要
- かまいたD

観光振興ビジョン（案）の更新版は事前に配布した。

続いて、資料を順番に説明します。

～資料 1、資料 2 を説明～

観光振興ビジョン（案）について、「釜石市観光審議会資料」を踏まえながら、前回か

らの更新箇所等を順に説明します。(下記表のとおり)

【説明項目等】

頁	更新等の内容
目次(1頁目)	一番下、観光消費額の状況を15頁に訂正。
7頁	「図1-1-5 驚きと発見の道」を挿入した。
8頁	データについて、前回の平成16年版を平成17年版に更新した。その結果、説明文も変わっている。
17頁	「2)人文観光資源」の表の区分を、教育委員会のホームページデータを参考に、変更した。
19頁	「図2-1-7 釜石市への交通アクセス」の図を、解り易い図に入れ替えた。
24頁	「4」グリーンツーリズム体験者数」の項目を新たに加えた。以前は、5月、9月が多かったが、昨年度は、7月、10月が多くなってきている。
29頁	「図3-1-1 後期基本計画施策体系図」を新たに入れた。
31頁	「図3-1-2 景観基本構造図」を新たに入れた。また、エコムーブメントの概念図を削除した。
36頁、37頁	中身はほとんど同じであるが、スタイルを若干変えた。特に、本日は、この部分を確認いただきたい。
39頁、40頁	外国人観光客の受け入れなどの項目について、これまで民間に対するハード・ソフトの補助がなかったが、昨年度から補助制度ができた。釜石市観光審議会資料の1頁、2頁も参照。別冊資料の2頁に、地域観光振興計画に記載すべき内容が載っているが、ビジョン案の39頁、40頁に、市内中心地域と根浜から栗橋地域の2つの地域を観光振興地域として取り組むものとし、新たに加えた。
41頁	特に重点的に取り組む項目は、二重枠で一括りとして整理した。41頁の「観光に関連する人材の育成」は全て重点項目とした。
42頁	「市民に対する観光資源の周知」の中で、「広報紙やマスメディアの積極的な利用」を重点項目からはずした。 「学校教育との連携の強化」の中で、「観光現場へのインターンシップの導入」の項目を新たに加えた。
43頁	43頁以降は、内容を並べ替えた。別冊資料の3頁、4頁に具体的な実施事例を掲載している。
44頁	「体験民泊」を重点項目にした。「味覚まつり」や「ツアー」の項目は、これからすぐ取り組む項目なので、重点項目からはずした。
45頁	「まちなか観光の推進」、「呑ん兵衛横丁の活用」は、まちづくり交

	付金でこれから進めていくので、重点項目からはずした。
46 頁	並べ替えした。「東海市」や「荒川区」などの部分を、先頭に掲載した。特に、中央から誘客を図りたい。
48 頁	「観光施設の整備及びリニューアル」を先頭に掲載した。
49 頁	「トイレ」関係は、まちづくり交付金で整備するという方向性が出されているので、重点項目からはずした。 「農山漁村のストックの活用」、「産業観光の推進」は、現在、進めようとする項目なので、重点項目からはずした。
51 頁	ほとんど変わらないが、別冊資料の 10 頁、11 頁に実践事例を掲載している。
52 頁	デジタルパンフ（CD）は既に、出来上がっているので、重点項目からはずした。
53 頁	事業者、市民、行政の責務の分担であるが、この部分も本日確認していただきたい。
54 頁～56 頁	考え方は前回同様。別冊資料の 13 頁に実践事例を掲載した。
57 頁～59 頁	57 頁以降に、モデル的な事業等を、新たに付け加えた。57 頁～59 頁は今後計画している事業を掲載した。
59 頁～60 頁	観光客入込み数等の推移と目標値を掲載した。
61 頁～70 頁	資料偏であり、65 頁は県観光協会の資料を参考に、釜石市の波及効果を試算した。66 頁以降は基礎データである。

（質疑応答）

寺田会長

第 1 回目の審議会、関係団体等の意見を踏まえ、変更がなされていると思いますが、委員から質疑・ご意見等をお願いします。

佐々木委員

- ・ 各関係団体から意見を聞いたとのことであるが、漁業・農業・森林団体が入っていませんか？
- ・ 指定管理者制度を導入している施設もあるが、事業を進めるうえで、3 年（指定期間）という期間が障害にならないか。
- ・ 檜の木平や和山については、どのように考えているのか？

和田課長

- ・ 漁業・農業・森林団体は直接意見を聞いておりません。ある意味「観光」は、幅広い分野に関係しており、スポーツ団体なども、広い意味では、観光に関係して

くると思いますが、そういうところも回っておりません。これらの団体は、パブリックコメントで意見が出てくれば良いと思っていたので、ご了承いただきたいと存じます。

- ・ 3年ということで、おそらく根浜海岸観光施設のことを言われていると思いますが、これらの施設はかなり老朽化しているため、意図的に3年という短い期間で指定したものです。根浜施設は市の責任で、今後リニューアルしていきたいと思っているので、リニューアルできれば、その後の指定期間は長めに設定できると思います。
- ・ 櫓の木平は、主に牧場に活用するために、今年購入しようとしているのですが、観光面でも活用できるのではという考えも持っています。

佐々木委員

櫓の木平については、もう少し中身がある話だと思っていました。

熊谷補佐

櫓の木平と五葉山の組み合わせで、活用方法等を検討しているということです。

和田課長

和山では、わらび農園を行っています。櫓の木には、登山口にトイレを整備してほしいという要望があります。

佐々木委員

前回、湾防の活用（泉ケーソンヤード）の活用について意見を出しましたが、今回の変更内容には具体的に入っていません。やはり、漁業関係者などの意見も聴くべきであったと思います。折角ある資源が活用されないことについて、もどかしさを感じます。

和田課長

観光船を活用して、先日の母親大会でも、船上で戦争の話を聞いてもらったし、今年の秋の修学旅行でも、観光船の中で津波の勉強をしていただこうと思っています。間接的には観光面でも活用していこうと思います。

千葉委員

湾口防波堤が出来て、かなり波が違ってきています。（湾内は静穏水域である）

泉のケーソン跡地について、シーカヤックを体験できる場所もあるし、網や養殖棚もあります。番屋で調理して、その場で食べさせるといった、番屋まつりのようなイベントもできると思います。もっと海を活用したイベントも検討してほしい。

和田課長

個人的には同じ意見であるが、問題は「誰がやるか」だと思います。

千葉委員

番屋まつり程度であれば、出来ると思います。そんなに大げさではなく皆が協力すれば可能だと思います。一回やってみてはどうですか？

寺田会長

泉ケーソン跡地は、東京ドーム程の広さであると思います。防災をメインに、国で管理していただき、何も無い間は、市が利用させていただく、といったことはできませんか？

和田課長

国が管理し、市が利用するというやり方は、これまで通りのやり方で、いつまでそういうことを続けられるか？

佐野部長

泉地区は、漁業権の問題もあり、具体的な活用方法等は決まっています。

杉本委員

ビジョンと言うからには、夢と希望に満ちた内容も、もう少しほしいと思います。「海」とか明るいものをもっと盛り込んでほしい。10年間という期間を想定していますが、できる、できないにかかわらず、もっと将来的に明るいものがあればいいと思います。グリーンツーリズムも成果が出ているが、「鉄」の関係ももう少しほしい。「たたら」や「鑄鉄」体験や、橋野高炉の復元館などもあればいいと思います。

和田課長

来年は150周年を向かえますが、本来の洋式高炉の模型をつかった体験も検討しています。

松岡委員

昨日、北東北DCキャンペーンの会議があり、各地域の方々が集まりました。その中で各地域を紹介するビデオを放映しましたが、釜石の内容が一つもなく、寂しい思いをしました。釜石は、「鉄と魚」の街である他に、「虎舞」や「よいさ」、「花火」、「まつり」など、身近で魅力ある素材がいっぱいあります。このような身近なものを、このビジョ

ンに入れて情報発信すべきと考えます。子供たちの虎舞も非常に良いので、「地域おこし」として取り組んではどうですか。結婚式などでしか、なかなか見られないのではなく、1日か2日、虎舞のイベントがあっても良いと思います。JRでは、来年の7月から9月に、全国から3,300万人もの観光客を北東北に呼び込もうとしているので、是非、市民一体となって取り組んでほしい。

和田課長

改めて見ると、「虎舞」や「まつり」が入っていませんでした。是非、盛り込みたいと思います。

寺田会長

確かに、幼稚園の虎舞は感動的です。

松岡委員

「鉄」は昔の話で、これからは変えていかないと…。

寺田会長

今まで「鉄と魚」であったが、このビジョンで「観光」のイメージアップを図りたいと思います。そういうものを入れて強力的にアピールしていきたい。

千葉委員

釜石よいさの一回目は、一万人の「虎まつり」でしたか？

藤田委員

一回目は「花火」であったと思います。今の観光客は、目も肥えているし、知識もある。2回、3回は切り口を変える必要があったと思います。

まるごと味覚フェスティバルも例年にぎわいを見せておりますが、そろそろ会場を変えるなど工夫が必要だと思います。

佐野部長

まるごと味覚フェスティバルは、行政主導で行っていますが、行政がやるとマンネリ化しやすい。民間主導でやったほうが望ましいと思います。

寺田会長

やはり、民間と行政が「協働」で進めるべき。

佐々木委員

観光協会と物産協会が統合して、大槌の物産の関係など、今のところ支障はありませんか？

寺田会長

今のところ支障は出てきていません。

千葉委員

観光物産協会の組織強化を図ってほしいと思います。

寺田会長

今回は、物産協会と統合しましたが、もっと他の団体が入らなければ組織強化にならないと思います。市としてもそのほうが取り組みやすいと思います。

千葉委員

市の観光、全てを業務に対応できる、現場のアイデアも集約できる、そういった組織になってほしい。

寺田会長

まさに、それを目指しています。組織強化するために、法人化なども検討しましたが、資金的な面がスムーズにいておりません。

平松委員

沖縄や北海道に行ってきましたが、むこうの観光業者は、観光客の対応が素晴らしい。やはり、観光で食っているんだ、という実感がありました。

藤江委員

昨年、お菓子の新商品を開発しましたが、やはり、お土産はお菓子ばかりではないと思います。食べ物でないお土産がほしい。個人のお土産にできる、目に焼きつく、そのようなものがあれば良いと思います。

千葉委員

盛岡のわんこそばの「キューピー」のキーホルダーがありますが、以前、観光船にも、そのようなものを作りませんか、という相談がありました。「虎舞」のキューピーキーホルダーなど、良いと思いますが、どうですか？

藤田委員

釜石よいさのタオルも良いと思います。そういうものを各商店に置いてみたい。

寺田会長

サンフィッシュでも「マンボウ」のキーホルダーを作ろうして、経費を試算しましたが、入り口上の画面のマンボウが、思うようにイルカに変化せず、断念した経過があります。

寺田会長

その他、ご意見ありませんか。

～ なし ～

それでは、今日の意見を踏まえて、答申したいと思います。

和田課長

「虎舞」や「まつり」は、付け加えますが、「夢と希望」の部分は、どのように表現したら良いか、難しいと思っております。

寺田会長

次の議事に入る前に5分間休憩します。

～ 午後3時35分 暫時休憩 ～

午後3時30分 会議を再開

議事(2) 広域ごみ処理施設の建設に係る周辺観光施設等への影響について

寺田会長

議事の(2)について、説明をお願いします。

高橋課長から、広域ごみ処理施設に係る現在までの経過説明があり、その後、菊池係長から、別添資料に基づき施設デザインの検討、及び、事業の具体的な概要について説明があった。

(質疑応答)

藤田委員

ごみを燃やした余熱等の活用策は？

菊池係長

余熱で発電するシステムにする予定。職員のお風呂や施設の冷暖房等に活用したいと思います。温浴施設については、市民にも開放したいと思いますが、規模等の具体的な内容はこれからの検討事項です。

藤田委員

観光面で、温浴施設は活用できると思います。

佐々木委員

アンケート調査については、実施する場所で内容が違ってくると思います。煙突から出る煙はどの程度？

菊池係長

「煙」は、煙突から出ません。新日鉄の火力発電所もそうですが、煙突から出るのは水蒸気です。水蒸気と気温の差が大きいと、煙のように白く見えますが、なるべく温度差が出ないシステムにし、水蒸気が見えないよう工夫します。(冬場はどうしても出てしまうと思うが、4月～10月はあまり出ないと思う。)

佐々木委員

水蒸気と言いますが、一般の人から見れば、あれは「煙」に見えてしまいます。いずれ、大観音や鉄の歴史館が見劣りしないような施設を考えてほしいと思います。

杉本委員

ごみは、燃やす前のストックが問題だと思います。匂いの心配はどうか？

菊池係長

匂いについても、きちんと事前調査するよう義務付けられており、気圧の違いを利用して、室内を外気より低い気圧にして、常に、室内に外気を吸い込むという方式をとりたいと思います。しかし、風向きによって、どうしても外に出ってしまう場合もあると思うので、風向きも考慮しながら入り口部分を検討します。

千葉委員

平田の下水処理場も、匂いが出ないと言っておりましたが、実際、風向きによって匂ってきます。

今回の処理施設は一般の方も見学できるように整備しますか？

高橋課長

見学施設としてギャラリーなども設置したいと思います。周りの風光明媚な環境を壊さないように考慮したいと思います。

千葉委員

見学したいと思われるような施設にしていきたいと思います。

平松委員

運搬車の台数も相当な数だと思いますが、現在の道路で心配ないか？

菊池係長

収集車の発着時間など、交差点付近の通行量等を考慮して、調査・検討していきたいと思います。

高橋課長

10 トントレーラーが数台になると思いますが、時間帯も配慮して検討します。

和田課長

今の計画と、本日の観光審議会との関係は？

菊池係長

今日は、説明のみとし、デザイン検討委員会の結果については、後日、報告いたします。

杉本委員

今回の施設について、他所と違う点がありますか？

菊池係長

景観を壊さないよう、美術館的な建物を検討しています。建設費は、通常 115 億円程度ですが、デザイン部分で 1、2 割増しになるかと思います。

寺田会長

その他ご質問ありませんか。

～ なし ～

以上をもって釜石市観光審議会を閉会します。

午後 4 時 8 分閉会